

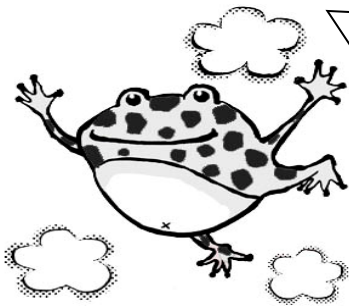
かえる便り 29年度23号

平成29年10月5日

中秋の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

昨夜は中秋の名月でしたが、縁側にススキと団子を用意して一人楽しんでいました。日本人の感性は欧米人と違うと言われます。様々な原因があるのですが、日本の自然美と多発する災害も要因であると言われていています。移ろいゆく季節の変化を五感で感じ、自然に対する感謝と畏敬の念が感性を磨いているのではないで

しょうか？ “お陰様” の陰は 神仏等の偉大なもの、隠れて見えないものを表しています。この言葉は日本にしかない表現方法らしいですよ。私たち日本人は常に見えないものに感謝しているから “感性” が豊かなのではないのでしょうか？ 感性を育てるためには、感動体験が必要だと思います。感覚が鈍いと感動も薄くなると思いませんか？ 厳しい練習を通して感動と忍耐力、自分の可能性を広げる努力を養うと同時に、自然美や素晴らしい作品を鑑賞する体験を通して、健全な青少年を育成したいと考えています。



日本語には、外国語では適切に表現出来ない言葉がほかにもあるそうです。環境分野で初のノーベル賞を受賞したケニア人女性の ワンガリ・マータイさんは “もったいない” に感銘を受け、環境を守る世界共通語『MOTTAINAI』として広めることを提唱されています。食べ物や自然に感謝し、大切にしていきたいものです。 綺麗な月でした!!

